

議員と気軽に語る会 実施報告書⑩

開催日時	令和6年6月28日(金) 19時30分~20時45分
開催場所	加美プラザ
対象集落	豊部・熊野部・岩座神・棚釜・多田
参加者数	17人
出席議員	班長(廣畑幸子) 司会(笹倉政芳) 記録(足立吉継) (藤本一昭) (橋尾哲夫) (門脇教蔵) (門脇保文) (藤原清勝) (内橋志郎) (市位裕文) (吉田政義) (日原茂樹)
意見発表	(足立吉継) (藤本一昭) (内橋志郎) (廣畑幸子)
意見まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・加美中を使えば50億かからなかった。全員バス通でもバス代に50億かからない。 ・町財政がしっかりしていないのに加美中を使わないのはおかしい。 ・小型合併槽も、想定の人口よりも極端に少なくなって、5人槽で1人しか使用しない場合の浄化槽の運転状況について心配だ。綺麗な水を流せるように。 ・集落要望を出しても前に進まない。防災面からもスムーズに進めてほしい。 ・農業はJAのためにしているようなもの。米で最低限暮らせるように。 ・偶然事情で多可町に帰ってきた。豊かな生活は出来ない。魅力も何もない。今は・田舎も街も贅沢できない。でも街で暮らす方が楽。周りに気にすることなく自分の時間が使える。子どもに先祖代々の土地を守れなんて言えない。 ・村付き合いが大変。縛りが多く、土日にしないといけないことが多い。昔みたいに互助的なことがない。誰も助けてくれない。義務だけ背負わされて権利がない。 ・議員の仕事は住民から集めた税金を効率かつ公平に分配することだ。 ・議会傍聴をPRしているが、実際一般質問日の議員の質問通告の内容を広報すべき。たかテレビの文字放送などで告知すれば。 ・議員定数の削減が昨年上程されて結果として否決された。住民の多くの意見は議員の定数を減らすべきであるという意見が多数である。なぜ議員はそれを否決したのか。議会の考え方や議員の姿勢について疑問を感じている。 ・若い人に議員になってほしい。その環境に配慮してほしい。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・高齢化している。若い人もいるが堤防の草刈りなど負担がかかる。若い人は普段機械を使うことが無く慣れていないので、機械を使うときは危険が伴う。・TAKA Fesに関わったが、多可町でもこんなのできるのだと実感した。アンケートを見たら「すごく感動した」が多かった。今までの事業をなんとなくやるのではなく、新しい事業をやっていくべき。町全体が一丸となってやるとすごい力になる。・1番多かった18世帯から16世帯へ。50人程度。変化はない・今後の子どもたちのために楽することを考えよう。 |
|--|--|

令和6年7月5日

多可町議会議長 日原茂樹様

報告者 足立吉継